

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路建設課長 井田 悦男	電話番号	0852-22-6456
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	安全な歩行・走行のための道路整備事業(第一種二道路本体改良)
目的	(1) 対象 道路利用者 (2) 意図 歩行空間の整備を図り、安全・安心を確保する。
事業概要	道路利用者の安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、整備計画路線に対して交付金事業や県単独の交通安全事業を活用して、歩道整備、交差点改良、登坂車線、視距改良を行う。 歩行環境整備必要全体延長 L=1,340km

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	歩道の整備率	目標値	86.0	88.0	90.0	93.0	%
	式・定義	整備延長/全体必要延長	取組目標値					
			実績値	84.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
				実績値				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	3,689,644	3,080,845
うち一般財源(千円)	214,248	225,485

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成22年度に策定した歩行環境整備計画(優先整備区間:1,340km)に基づいて、事業実施中である。
 ・平成26年度からは、平成24年度に行われた通学路緊急合同点検に継続する県内全19市町村で策定された通学路交通安全プログラムに基づく対策必要箇所について、関係機関と連携しながら継続的に整備を行っている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・平成27年度は下記工区が完成した。
 1. 米子広瀬線 安田山形工区
 2. 川本波多線 川本大橋工区
 3. 三瓶山公園線 池田工区
 4. 石見福光停車場線 福光工区
 5. 国道488号 匹見工区
 など8工区

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 ・歩道整備箇所等において、通学路以外については国の補助が重点化されていないことから十分な予算確保が困難な状況となっている。
 ・事業化された箇所において、整備延長が長く多額の事業費を要するため整備完了までの期間が長期化し、効果発現が遅れている。

②困っている状況が発生している「原因」
 ・近年は、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通学路以外の歩道整備や交差点改良などへの配分は低く抑えられる状況となっている。

③原因を解消するための「課題」
 ・地域の実情に応じた国費の配分。
 ・限られた予算を有効かつ効率的に活用することが必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・国に対し地域の実情に応じて予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。
 ・通学路の歩道整備については、平成26年度に県内全19市町村で策定した通学路交通安全プログラムにより重点化要望を行い、予算確保を図る。
 ・地元や警察署など関係機関と一緒に、当面の対策を検討するなど地域のニーズに応じた多様な手法による整備を促進する。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。